



川口市役所 第一本庁舎

KAWAGUCHI CITY HALL MAIN BUILDING 1

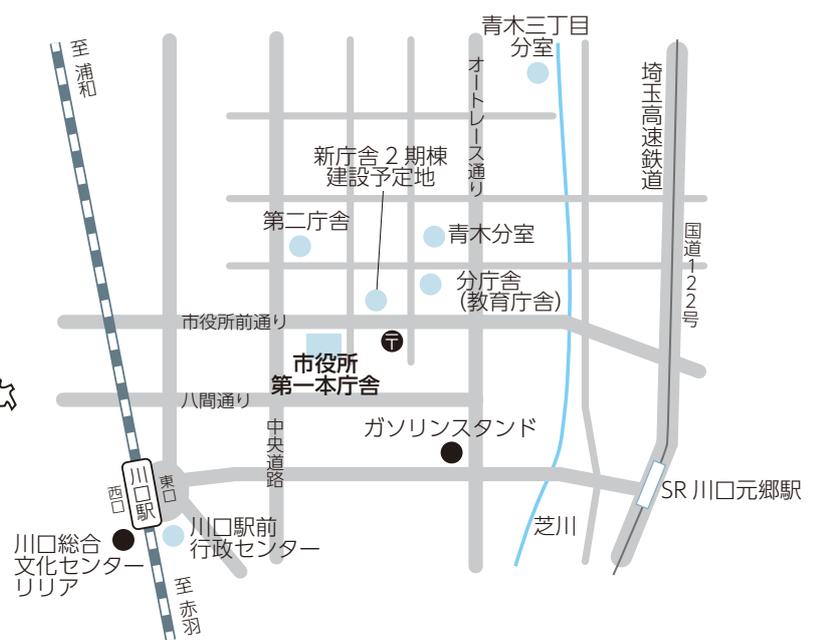




市庁舎案内図



第一本庁舎周辺拡大図



 **川口市役所** KAWAGUCHI CITY HALL

〒332-8601 川口市青木 2-1-1 TEL 048-258-1110 (代表)
<https://www.city.kawaguchi.lg.jp/> 令和 3 年 4 月第 2 版発行



川口市ホームページ



災害に強い庁舎

■地震に強い免震構造

新庁舎には地震や水害（荒川氾濫リスク）に備え、1階柱頭免震（2階床下に免震装置を設置）を採用しています。

■ペDESTリアンデッキの設置

水害時、浸水高さ4mに対応できるように、デッキ高さは5m（2階床の高さ）に設定するとともに、2階も避難階に位置付けます。全方位から避難者を受け入れられるよう、ゆとりある幅（1.5m～2m）の階段を複数設置しています。

■災害時の機能維持

ライフラインの遮断時においても、災害対応等の業務継続などを図るため、非常用発電機、井水利用、緊急汚水貯留槽を設置しています。さらに、「防災の蔵」（2階床下空間を活用して防災備蓄を行う）、屋上ホパリングスペース、停電時も非常用発電にて利用できる「防災用EV」を設置しています。



環境にやさしい庁舎

■「植木のまち」を象徴する庁舎

ひな壇テラスや外構植栽により、植木のまち川口を象徴する庁舎としています。また、ひな壇テラスの緑は建物竣工時が完成ではなく、竣工後も、まちの発展とともに育ち続ける緑豊かな庁舎となるように整備していきます。

■自然エネルギー利用

緑の蒸散効果による外気冷却、庇による日射カット、バルコニー面の照り返しを利用した間接光の導入、太陽光発電パネルの設置などを行っています。さらに新庁舎のシンボルとなるシビック・キューポラ（吹抜空間）においては、自然光を積極的に取り入れるとともに、吹抜の煙突効果を利用して自然通風・自然換気を促進します。

だれもが利用しやすい庁舎

■ユニバーサルデザインの採用

市役所を初めて利用する方にもわかりやすいよう、主出入口の正面に総合案内を設置しています。また、EV、オストメイト対応のみんなのトイレ（多目的WC）、授乳室、キッズスペース、点字ブロック、サインなどを適切に配置しています。

■だれもがわかりやすい明確な動線計画

来庁者、職員・議員の縦動線（EV・階段）を東西で分けることにより、利便性の向上と管理・運用の円滑化を図っています。

■利用しやすい議会施設の整備

議会機能の独立性を踏まえながら、議員、職員はもとより、訪れる市民にとっても利用しやすいよう、議場や諸施設の配置、動線に配慮しています。



働きやすい庁舎

■整形大平面のオフィス

将来のレイアウト変更にも柔軟に対応できるように、間仕切りのない執務室空間としています。

■ユニバーサルデスクの採用

執務室のデスクは、ユニバーサルデスク（大型の共用デスク）を採用することで、組織変更などの際でも職員のみが移動し、レイアウトの変更を行わずに対応が可能となるため、迅速かつコストを抑えた対応が可能となります。

■不快な気流を生じさせない輻射空調の採用

執務室等の大空間については、上部アルミパンチング材を通じてじんわり吹き出す輻射空調を採用しています。